

## 令和 3年度 施策評価シート（令和 2年度実績評価）

政策 06 みんなで築くまち  
 施策 02 協働によるまちづくりの推進  
 主管課： 市民協働推進課  
 関係課： 社会福祉課

## 1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民、市民活動団体	意図（どのような状態にしたいのか） 市民活動が活発に行われ、行政との協働のまちづくりが進められるまちをつくります。
-------------------------------	--

## 2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市民・市民活動団体と行政が、協働でまちづくりに取り組んでいると思う市民の割合 (%) 市民協働推進課						
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
58.40	55.70	56.20	58.50	56.60	60.50	65.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して3.9ポイント増加しており、成果が向上しました。基準値と比較すると微増となっていますが、目標値は達成できていない状況です。 (原因) 地区で見ると、大野・みずき野・美園地区で数値が高く、年代で見ると、30歳代・60歳代でやや低い傾向にあります。特に大野・みずき野地区においては、まちづくり協議会の活動が浸透していることが推測されます。				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

## 3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	77,159	40,153	31,921	58,371	54,187
人件費	24,769	29,378	27,628	0	0
トータルコスト	101,928	69,531	59,549	58,371	54,187

## 4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
01 市民活動への参加意識の形成・向上と情報提供	横ば	横ば			9,732	13,000	9,990	11,541	11,541
02 市民活動の活性化	横ば	向上	低下		63,422	22,824	20,684	36,845	36,904
03 市民と行政による協働事業の推進	低下				4,005	4,329	1,247	9,985	5,742
99 施策の総合推進					0	0	0	0	0

## 5 施策全体の取組状況と課題

## 前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>市民活動支援センターと連携し、地域で活動するため必要な知識や手法を掲載した「ガイドブック」を発行しました。また、市民公益活動を促進するための新たな仕組みの構築について検討し、準備を始めました。</p> <p>まちづくり協議会に対し各種支援を継続して行いましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの活動が中止となりました。コロナ禍での活動をどのように進めるか、そして守谷D地区まちづくり協議会の設立が課題となります。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

## 当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>市民活動支援センターと連携し、地域で活動するため必要な知識や手法を掲載した「ガイドブック」を発行します。</p> <p>各地区の「まちづくり協議会」に対し、活動交付金の交付・活動拠点の整備・担当職員の配置等の各種支援を継続するとともに、残り一地区となった守谷D地区での「まちづくり協議会」の設立に向けた支援を継続します。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

## 次年度の方向性

<p>市民公益活動を促進する仕組みとして、（仮称）もりや公益活動促進協会を設立します（令和3年10月）。この組織と市が、協働することで、市民公益活動の拡大をねらいます。</p> <p>守谷D地区まちづくり協議会が設立できるように、地域住民と検討を再スタートします。</p>	成果方向性	より向上
	コスト方向性	維持